

## 鶏めし弁当おいしいね

### 大館市 小中学校給食に登場



弁当を製造販売する「花善」（大館市御成町）の名物商品で、J R大館駅などで売られている「鶏めし弁当」が19日、同市の桂城小学校の給食にお目見えした。花善は市内の全27小中学校に計4936食を提供、3月までに各校で1回ずつ給食に登場する。

給食への鶏めし弁当の提供は、子どもたちに地元の魅力を実感してもらおうと2013年度から毎年行われており、今年で10回目。

桂城小では花善の八木橋秀一社長が校内放送で、弁当の販売が1947年に始まったことや、列車内で食べる際、冷めてもおいしいように味付けを工夫していることなどを紹介した。

提供したのは学校給食用で、学年に応じて140～220グラムと量が異なる。児童は給食と一緒に弁当の鶏肉やご飯、卵などをおいしそうに味わった。6年生の小山樟君は「1年の時の給食で初めて食べた。その時から変わらない味でおいしい」と話した。

（盛禎央）

（令和5年1月24日（火）秋田魁新聞より一部抜粋）